



# 木工技術科 実習日誌 Vol. 6



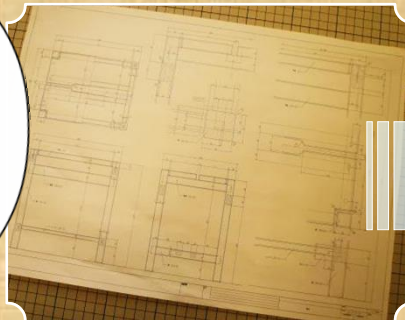
今日はいつもの実習から少し離れて、製図の授業を紹介します。



基本的には週に一度、「平行定規」という製図用具をしようした製図の授業があります。

これからみんなが実際に製作する予定の製品図面を、自分の手で一つひとつトレースしてもらおうのが主な授業の内容です。

いざ製品の加工に入る前に、こうして図面を写し取っておくことで、製品の外形寸法や形状、継手を理解しておくことができ、実際の製作作業が効率的に運びます。



製作課題1 『腰掛』

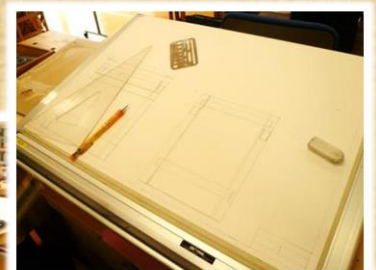


こういった品物が完成します！

今みんながトレースしているこの図面に基づいて実際に製品を作ってみると・・・

現在では図面を描く際、作図ソフトを使うことがほとんどで、手で描くということはまずありません。

しかしながら、実際に手を動かしながら、線の濃淡や太さを考えながらトレースすることは、図面から立体を読み込む能力を培うのにとても適しています。



集中して取り組むと一日があっという間！